

総則 予算

国の新年度予算編成は、世界経済金融情勢の余波を受けた経済状況の悪化により非常に厳しい状況にあります。

小平町の財政状況においても歳入は、自主財源である地方税（町民税や固定資産税など）は、長引く景気の低迷により、地域経済は一段と厳しさを増しており減少が予想されております。

そのような中で、本年度の予算編成に当たっては平成20年度からスタートした「小平町新総合計画」を基本として、中・長期的な視野で「選択と集中」の観点に立ち地域の活性化と町民の福祉の向上につながる予算編成をしたところであります。

予算総額は、一般会計では39億1千3百万円、老人保健会計他5特別会計では13億7千68万円、水道事業会計では2億2百万9千円で、総額54億8千5百68万9千円となり、前年当初と比べ1.3%、7千3百2万9千円の減となっております。

次に、各課の施策概要についてお知らせいたします。

総務 企画

職員定数及び職員給与や各種委員報酬等の適正管理。

交通安全及び防犯対策の推進。さらには、防災及び防火対策の充実等「小平町新総合計画」を基本として行政と町民が意欲を持って取り組む体制づくりや安全安心な地域づくりを進めてまいります。

①交通安全対策については「事故に遭わない、起こさない」ことを基本理念とした安全対策を引き続き励行します。

②防犯対策については、不審者や詐欺商法対策など地域内連携を図りながら活動推進します。

③防災対策については、北海道庁で2カ年計画で実施している津波想定調査を活用したハザードマップの作成や地域と連携した防災意識の高揚及び備えに努めます。

④防火対策については、救急体制の充実と住宅用火災警報器の普及促進等防火対策を推進します。

⑤地上デジタル放送については、本年度から2カ年計画で中継局整備を進めることとし、難視聴地域への対応なども含め地域住民の不安解消など情報提供にも努めます。

⑥定住対策については、支庁圏域を超えた幌加内・沼田両町との連携と東

京都小平市との連携など、当町の地域特性を活かした対策を検討するとともに、官民一体となった協力体制の構築に努めます。

⑦広域行政については、地方分権改革の一環として進められている事務権限の移譲により地方自治体の負担は組織の縮減と反比例して増加傾向にある中で、さらに一歩進んだ広域行政のあり方を検討します。

財政

将

来を見据えた財政運営について、国の歳入・歳出一体改革路線等国の動向を常に念頭に置き、財政健全化法下の健全財政の継続に努めてまいります。また、町税等自主財源の確保については、より一層地域の理解を前提とした取り組みを推進してまいります。

主な投資的事業	予算額
財務会計システム整備事業	2,100千円

主な投資的事業	予算額
テレビ中継所デジタル化事業	62,825千円
生活路線バス車輛整備事業	5,858千円

平成21年度 町政執行方針

平成21年第1回町議会定例会が3月3日から19日まで開催されました。この定例会で横濱町長は、平成21年度町政執行の基本方針を述べるとともに、この方針に基づいた予算案を提出し、慎重審議の結果原案どおり可決されました。新年度のスタートにあたり、その概要をお知らせします。